



平成28年熊本地震により被災された  
皆さま方に衷心よりお見舞い申し上げます。

©2016 雅友会

浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金 「平成28年熊本地震災害義援金」にご協力をお願いします。

親鸞聖人750回大遠忌法要  
に出勤して

～専如ご門主さまご親修にて修行～  
南薩組攝光寺 松元正顕

6月18日に「親鸞聖人750回大遠忌法要・本願寺沖繩別院落成慶讃法要」が第25代専如ご門主さまご親修にて本願寺沖繩別院にて修行されました。

この法要に際して、鹿児島雅友会に讃嘆衆としての出勤のご依頼があり、会員9名でお参りさせていただきました。昨年12月に修行された「太平洋戦争戦没者・沖繩終戦70年追悼法要」に引き続き、の沖繩でのご縁でありました。

この法要の数日前に沖繩は梅雨明けし、梅雨真っ只中の鹿児島か



ら、太陽が燦々と降り注ぐ、沖繩の地へ向かったことです。

法要が修行された沖繩別院は沖繩の南部に位置し那覇市に隣接する浦添市にあります。法要前日に沖繩に到着し、空港到着後、そのまま沖繩別院に向かいました。新築された沖繩別院は2階に本堂。1階に納骨堂。その他事務所・多目的室等があります。2階の本堂にて前日習礼が行われ、沖繩特区の結衆・鹿児島雅友会が参加し、本山会役者のもと、全体の流れの確認がありました。

法要当日はご門主さま御導師にて、沖繩特区の結衆が内陣出勤し、内外陣にて鹿児島雅友会が讃嘆衆として出勤し、奏樂させていただきました。お勤めの声、雅樂の音色が本堂中に響き渡り賑々しくつとめられました。



本堂には門信徒の方々・地元の関係各位をはじめ、本山関係各位、第5連区（九州地区）の各教務所長の方々、鹿児島教区宗会議員等多くの方々が参拝されておられました。

下間要信沖縄県宗務事務所長・本願寺沖縄別院輪番がご挨拶のなかで「沖縄の開教は明治12年に始まり、昭和36年に開教地としての指定を受け、昭和47年に開教事務所が設置され、翌48年に現在の地に移転し、沖縄における伝道教化の拠点としてその一役を担ってまいりました。その間、幾多の困難を乗り越えて来られた先達の方々の並々ならぬご努力があったこととは言うまでもありません。このたびは、そんな沖縄開教の基礎を築かれた先人の方々に感謝申し上げる法要でもあり、開教に



携わる私たち一人ひとりが心を一つにし、さらに力強く歩んでいくための勝縁と受け止めさせていただくことであります。」と述べておられます。

沖縄開教が明治12年に始まり、紆余曲折の中で、幾多の困難を乗り越えお念仏のみ教えをお伝え下さった先達の方々のご努力、そして関係各位のご尽力により現在の沖縄別院が建立されました。沖縄の方々・関係各位が様々な思いで迎えられるたこの法要の尊きご縁に遇わせていただきましたことを有難く思うことです。

くしくも今年、鹿児島は開教140年の節目を迎えます。この度の沖縄でのご法要と同じように、今度は鹿児島の方々の願いに思いをはせながら、身を引き締めて開教140年のご法要をお迎えしたいと思えます。

さつま開教140周年記念法要

9月5日（月）、鹿児島別院本堂に於いて、さつま開教140周年記念法要が勤修されます。鹿児島にしかない、とても大切な法要です。皆さん揃ってお参りください。

雅楽ミニコンサートもあります♪♪

雅楽の新しい魅力を発見

WALK INN FES

2016に出演

南薩組顯證寺 藤 直亮

5月22日の日曜日に桜島溶岩グラウンドにて開催された「WALK INN FES 2016」に雅友会で出演をさせて頂きました。

このFESは中央駅番街にある「WALK INN STUDIO」が中心となり、「僕らの街は 僕らで創る」をテーマに、鹿児島島の音楽文化の発信を目指して3年前から行われているものです。昨年までは「ROCK FES」でしたが、今年から「FES」になり、ジャン





ルも幅広くなりました。その流れの中で雅友会にも声をかけて頂き、初出演させて頂くこととなりました。

出演は決めたものの、何を・どう演奏するかについては悩むところでした。ROCKが外れているとはいえ、やはり雅楽を聞いたことのない若い方々がお客さんの中心ですので、本当に自分たちの演奏が受け入れられるだろうか、僧侶の衣体で浮かないだろうかと不安もあり



ました。

主催者側との打ち合わせを通じて、「是非お坊さんの姿で出てください」との言葉を頂き、演奏も古典雅楽と、現代的な雅楽をドラム・ベース・キーボードとのコラボで演奏する形に決まって行きました。雅友会での練習、コラボに参加してくれる方々とのリハーサルと準備を重ねていく中で、3か所あるステージの内、何と！メインステージに出させていただくことになり、いやが上にも緊張が高まってきました。ちなみに、リハーサルではキャパルホールでのステージで演奏させてもらうという、嬉しい経験もさせて頂きました。

さて、いよいよ迎えた本番当日。「雨フエス」の異名を持ち、これまで毎年雨に降られていましたが、今年は3年目にして初の快晴です！準備段階で、桜島が歓迎の爆発をし、灰が被らないように、慌てて楽器を移動させたりしたのはご愛嬌。ステージ裏で円陣を組んでから、いざステージへ！本番の様子を言葉で伝えるのは無理なのですが、「とにかく気持ちよかった！」というのが素直な感想です。

出演後はMBCの取材を受けたり、会場でたくさんのお客さんからお褒めの

言葉を頂いたり、SNSに我々の演奏の事がアップされたりと、嬉しい体験をさせて頂きました。

今回出演させて頂いて感じたことは、私たちが自身が思

っている以上に、雅楽には人を惹き付ける大きな力があること、その魅力を伝える方法はもっとたくさんあるんだということ。大きな気付きを頂けたことに感謝するとともに、大舞台に立つにはまだまだ実力不足も感じています。今後も研鑽を積み、本来の雅友会の役目であります法要での奏楽を充実させながら、雅楽の魅力発信の活動も続けていきたいと思えます。

来年も呼んでもらえるように、頑張るぞ雅友会！



MBCの番組「てげてげ」で紹介されました。

### 茂山狂言と仕舞、雅楽の会

7月3日、鹿児島別院本堂で行われ  
ました狂言の会に、声明と雅楽の依頼を頂  
き、出演させて頂きました。観客に聞い  
ていただくという声明、また観客の方を  
向いての雅楽というのは、普段あまり経  
験がありませんので、慣れた本堂でも少  
し違った緊張感がありました。

観客はおよそ400名、ご門徒以外  
の方、初めての方が多数だったようで、真  
剣に聞いてくださる姿が有り難いこと  
でした。



### 雅楽公開講座のご案内

8月24日(水) 13時より、本山勤  
式指導所講師 高橋昭人先生をお迎  
えし、『法要と雅楽』と題して、ご講  
演頂きます。

雅楽に興味のある方、どなた様も  
是非ご参加ください。無料です。

### 朋友紀行 3

このコーナーでは、雅友会員の所属寺  
のご紹介いたします。第三回目は、雅友  
会筆管頭、東隅組輪光寺の山内義宣氏  
です。

曾於市末吉町  
にあります岩屋  
山輪光寺は、明  
治9年9月5  
日、薩摩藩によ  
る300年に及  
ぶ念仏禁制が解  
け、開教のため  
本願寺より鹿児  
島別院に派遣さ  
れた初代住職が



当地を布教する中で、地元の人々の強い  
熱意に押され定住し、明治13年設立以降  
135年以上にわたりお念仏を広めて  
まいりました。

3代住職の頃より社会福祉活動にも  
力を入れ、今では保育園、養護老人ホ  
ム、特別養護老人ホーム、障害者グル  
ープホーム等を経営する日本でも数少な  
いお寺となっております。



### ☆雅友会へのお問い合わせ

鹿児島教区教務所内 雅友会事務局

099122210051 (担当 片岡)

雅友会ホームページ(鹿児島別院ホームページ内)

<http://www.hongwanji-kagoshima.or.jp/gayukai/>